

令和5年度第1回委員会 会議概要

令和5年6月1日（木）10：30～11：30

アピオあおもり 2階 大研修室1

◆ 会長あいさつ

◆ 新任役員と事務局員の紹介

新任役員：青森県交通安全母の会連合会 会長 大坂 美保

青森県中学校長会 幹事・対策委員長 袴田 康夫

事務局員：事務局長 吉田 巧 青少年・男女共同参画課長

事務局次長 上明戸 健一 青少年グループマネージャー

◆ 議事

◇ 議題（1） 議案第1号 令和4年度事業報告

議案第2号 令和4年度収支決算報告

事務局から、総会資料（p.1～10 及び p.11～14）に基づいて説明。

・ 監査報告

齋藤監事から、適正であるとの報告。

異議なく、原案どおり承認。

◇ 議題（2） 議案第3号 令和5年度活動方針・重点目標・事業計画

議案第4号 令和5年度収支予算（案）

事務局から、総会資料（p.15～20 及び p.21～24）に基づいて説明。

・ 財政調整特別会計に繰入れする寄付金の取扱いについて（p.24 【参考】）

（事務局）

役員の皆様から充当事業に係る意見を聴取し、令和5年度第2回委員会で充当事業案を提示、決定することとしている。その後、令和6年度総会において、寄付金充当事業案をお諮りし、承認された事業を実施することとしたいと考えている。

（会長）

第2回委員会の際に、この寄付金をどのような使い方をしていったらよいか、しっかりと考えましょうという話があった。コロナも少し収まってきたので、せっかくいただいたお金を地域活動に使えば良いのではないかとということで、ご意見をいただきたい。

・ 質疑応答

（会長）

少年の主張大会について、コロナ禍の3年間で、準備をしたけれど実施できなかった年はビデオ審査という形で、昨年度は生徒だけ体育館に入れるという形で実施した。コロナは落ち着いてきたが、学校の方ではインフルエンザがあったりして大変お氣遣いをされているというニュースも聞いている。その点については、開催校である鱒ヶ沢中学校と取り決めていいのか。

(事務局)

学校との打合せでは、現在のところ、特段の制限を設けずに実施することについて、問題がないということになっている。講演会は地元の方も聴講できるよう、学校と協議の上、できれば皆様にもご案内して、ご参加いただく機会になればよいと考えている。現在、講師や講演の内容等についても調整中であり、追って皆さんにご連絡いたしたい。

(会長)

県民会議では色々な事業をやっているが、少年の主張大会は、昨年度の発表内容の演題を見ても、中学生が本当に色々なことを考えているということがわかり、大人としても反省するという部分もあり、できれば地域の方々、PTAの方の中でも参加したいという方がいたら、聴講できる機会があればいいと思っている。

(会長)

さきほどの寄付金については、第2回委員会の前に何かをすることか。

(事務局)

総会資料で説明したとおり検討を進めることになるが、委員の皆様にご文書をお送りして、まずご意見を伺って、その意見をまとめて、事務局から方針又は案をお示ししながら進めていきたいと考えている。

- ・協議の結果、原案どおり承認

◇ 議題(3) 議案第5号 役員を選任

事務局から、総会資料(p.26、p.28,29)に基づいて説明。

- ・役員の皆様は、本年6月7日をもって任期満了となる。
- ・現在の会長、副会長、監事の皆様のご意向を確認した結果、副会長である青森市青少年育成市民会議 前会長 天内 勇氏が退任の意向を示されたことから、天内氏以外の役員の皆様は全員再任としたい。
- ・天内氏の後任として、青森市青少年育成市民会議 会長 奥瀬 金蔵氏を推薦したい。
- ・以上から、会長 橋本都、副会長 工藤鉄藏、杉間修一、菊池三千郎、佐藤やえ、浮木隆、伊藤美穂子、三上宗一郎、奥瀬金蔵、監事 齋藤三千義、大柳雅一が事務局案である。

- ・協議の結果、原案どおり承認。

◇ その他

- ・委員については、会員の中から会長が委嘱することと規定されている。委員の皆様には、引き続き当県民会議にお力添えをお願いしたいと考えており、総会終了後、事務局から所属の団体に推薦依頼をさせていただく。概ね6月中には事務手続きを終わらせたいと考えている。

- ・令和5年度青森市青少年育成市民会議総会出席について佐藤副会長から報告

◆ 閉会